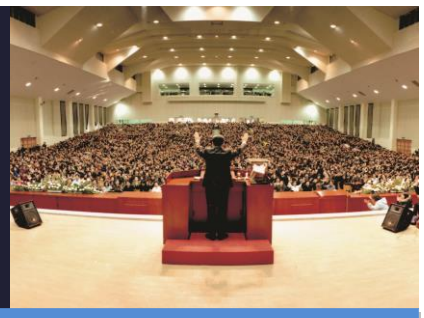
第 2018-31 号

恵みと真理のニュース



2018 年 8 月の一次　恵みと真理教会
韓国 京畿道 安養市 萬安区 安養路 193 / ☎82-31-443-3731 / www.gntc.net

［証］

恵と真理教会で祈って神様から答えられる楽しさを享受して、御言葉の恵で充満な信仰生活をするように導いてくださった神様の恵みに感謝します

私は幼いごろ10歳から教会に通いました。当時、私達の家族の中では母だけ恵と真理教会に通って信仰生活をしていました。私は中学校を卒業するまで母をついて反強制的で行き、不満な心で教会に出席しました。日曜日の朝になると私はもっと寝たいのに朝早くから教会に行きなさいと催促する母の話が聞きたくない小言で聞こえました。

中学校を卒業を控えて科学高等学校の入学試験を受けました。当時、私は科学高校に進学したかったが、そんな準備になってなくて実力が足りないと思っていました。それで、合格に対する確信がなく入試が近づくと不安感が高まりました。教会に行って礼拝をささげることに神様に祈りを捧げました。当時には神様に求めて祈っても祈りが答えられのるかどうか疑って祈りました。しかし、神様に祈ったらすぐ心が楽になる感じを受けました。

不合格すると思った科学高校の入試に合格しました。言葉で表現できないほどうれしかったです。すべてが神様の恵みでした。私が考えても実力が足りなかった私でしたが、神様が短い時間に実力を大きく成長させてくださり、必要なものを満たしてくださり、不安だったわたしの心に平安と大胆さを下さって私が科学高校に進学の希望を成し遂げました。その後、高校に通いながら大変な事があったり重要な選択と決定をする時にまず、神様に祈るようになりました。また、教会もその前より誠実な姿勢で行くようになりました。

一方でたまには主日の朝もっと寝たい心で教会に行きたくない時もいました。そして、神様をよく信じるのと教会の礼拝に休まずに参席するとは別だと高慢な考えもしました。祈りを多くしましたが、その時目の前にどんな結果がないとすぐ失望しながら神様に対する信仰が成長しなかったです。そうするうちに大学の入試を受ける過程で私に向かう神様の愛を深く悟って神様の恵みを感じることが出来ました。書類で合格して口述面接の前、試験問題を解く時でした。与えられた問題を見ると答えを探す方法が浮かばなくて頭が白くなりました。与えられた時間を半分過ぎて神様に祈ろうと思いました。それで、鉛筆を置いといて、神様に知恵と英知を求める祈りを捧げました。祈った後、再び問題を見たら本当に驚くほど解ける方法が見えました。残った時間に問題を全て解けて成功的に面接を終えました。この事があった後、わたしの信仰と信仰生活に大きい変化がありました。今までまるで宿題をするように形式的に教会に行きましたが、神様の恵みを実感してから楽しくて感謝する心で神様が与えられる恵を愛し期待しながら教会へ行くようになりました。礼拝を聖徒の義務だけでなく、聖なる特権で思うようになりました。謙遜な態度で礼拝を捧げて導いてくださる神様の恵みの中で生きていること自覚するようになって常に感謝するようになりました。

大聖殿で捧げる礼拝に参席してからわたしの信仰が成長しました。当会長の牧師の説教を聴きながら聖書に基づいた堅固な信仰を持つようになりました。イエス様を信じる主な理由が救いを得ることで、その救いの確信は罪が赦され永遠な命を得て天国に行くのであることを確信しました。 この世に倣わなくて国と教会のためキリストの時代的な使命を悟って祈るようになりました。神霊な自負心と矜持を持って恵みと真理教会をもっと愛するようになりました。難しいことがあったら神様に委ねて良い事が出来たら神様に感謝を捧げるのを習慣のようになりました。その結果でわたしの心の中では主が与えて下さる自由と平安がいっぱいになって以前は考えなかった喜びで生きるようになりました。たとえ、私がまだ、若い青年で長くない人生を行きましたが、神様が私に溢れるほど福を与えてくださいました。私がどんなものを願うなら、驚くほどそれを成し遂げるように摂理してくださり、機会も下さって、私の願い通りならなかったのも後に時間が経ってみたら私にもっと有益になるもので与えてくださいました。神様が私を選んで神様の子供にしてくださり、時ことに豊かな救いの恵みを与えてくださいました。神様から受けた愛と恵みを証して神様に栄光捧げることが出来て感謝で喜びでした。いつも教会の生活をしながら熱心に教会と聖徒を仕え伝道する母の信仰を見習って私も真面目で忠誠した主から用いられる者となるように願います。これからも神様が生きておられることとイエスキリストの中で神様の愛をもっと体験してまた、人々に表して述べ伝える真実な聖徒になるように願います。ハレルヤ！

［信仰コラム］　私達の健康のための神様の配慮

"愛する 者よ． あなたのたましいがいつも 恵まれていると 同じく， あなたがすべてのことに 恵まれ， またすこやかであるようにと， わたしは 祈っている"（ヨハネの第三の手紙 2 節）

神様は私達の魂と物事が良くなるのを願われるだけではなく、健康であることを願われます。これに対して疑う余地がないように確実なたくさんの証拠が聖書に記録されています。神様は私達の健康のため数多くの命令と約束を与えられました。私達が謹んで退けて、捨てるべきのことと積極的に受け入れて維持すべきのことに関してお話しなさいました。

第一に、神様がモーセを通じて与えられた律法の中でレビ記 12 章 3 節を見ると男の子は出生して８日に割礼を受けるようにしました。

割礼は男の子の生殖器の表皮の先を切る儀式です。割礼に関する神様の命令は最初にアブラハムに与えられました。割礼はアブラハムと彼の子孫が神様と言約を結んだ民になったことを表示することです。ユダヤ人達はこれを励んで守りました。出生して八日に割礼を受けさせました。医学的な研究結果によると産まれて八日になる子は痛みを多く感じず、血も早く止んで傷も早く治るそうです。血を凝固させるビタミン K が生後 7 日になって正常分量に至り、凝血素の数値が100%に安定されるということです。割礼はアブラハムと彼の子孫が神様と言約を結んだ民になったことを表示する象徴性以外にも疾病を予防する意味があるという研究結果があります。1900 年の初、ワインバーグ博士がニューヨークで患者の記録研究する中、ユダヤ人の女性達には感染された事例がほぼない疾病を発見しました。そこで割礼に対する答えを得ました。包茎の男の場合清潔の問題があり得て、細菌感染の原因提供になり得るという事実です。男の子が成長しながら大多数は自然に包茎が解決されるので強いて幼い時に必ず包茎手術をする必要性はないが割礼は予防医学的な意味があるという事実を現代医学が明らかにしたのです。

レビ記 12 章 1 節から 4 節を見ると、男の子の割礼と同時に子を出産した産婦に対する浄潔規例が記録されています。神様は出産した女性に否定な期間を設定なさって出産した女性の宗教的、社会的な特権を停止させたが、その理由が実際には産婦の健康のための詳細な配慮です。そして禁欲して細菌感染の防止になるようにしてまた、赤ん坊に感染防止になるようになさった配慮です。

第二、"絞め殺した者と血を避けなさい"という御言葉について調べてみます。

絞め殺した動物を避けるということはそのような動物を食べてはならないという意味です。血を避けなさいという命令も血を食べてはならないという意味です。レビ記 3 章 17 節に"あなたがたは 脂肪と 血とをいっさい 食べてはならない． これはあなたがたが，すべてその 住む 所で， 代¿守るべき 永久の 定めである "としました。神様が獣の血を食べてはならないという律法を与えてくださったことも人の健康のための詳細な配慮がその中にあります。血液検査をすると健康状態を分かります。体の中に浸透した菌が血液の中にあります。なので獣の血を飲むということは健康にとても危険なことです。また他の問題があります。ノロやミノコを狩猟してその血を飲むと力が出る理由は狩猟された動物の血の中にアドレナリンが満たされているからです。恐怖と生命の危機に遭った動物の符節からアドレナリンが大量分泌されます。しかし、このアドレナリンが T リンパきゅうを破壊させる結果を生みます。そうして抵抗力が落ちた体が感染されると発病します。現代医学がこのような事実を分かる 3 千年前に神様は獣の血を飲まないように律法で厳格に禁じられました。

神様の御言葉は理解できなくても信じて従うべきの理由が二つです。一は、絶対主権者でおられる神様の御言葉であるからです。二は、神様の御言葉は私達の幸福のために与えられた御言葉であるからです。従って、神様の御言葉は理解ができなくてもそのまま信じて従う者が知恵あって福のある者です。

「チョヨンモク牧師先生の信仰コラム‘緑の牧場、清い川’本の語り中」

人の子が來るとき地上に 信仰が見られるであろうか

恵みと真理教会 **チョヨンモク** 牧師

歴史は無意味に進行してを繰り返していると思っている人がいます。しかし、歴史は意味が明確な目的によって実行されることが、聖書に啓示されています。聖書は、この世界と歴史の終末を予言しています。これらの終末は、神に逆らって罪を犯した人のための神の裁きで来るようになります。歴史の終末は、人間の悲劇的終末を意味するだけではありません。人類の歴史は、人間を救われる神のあがないの 歴史だからです。人間の救いがキリスト・イエスにあって成し遂げました。イエス・キリストは父なる神の旨を達成するために、この地に来られ、十字架で死んでおられ、復活昇天されました
そして、イエスを信じるすべての人を、新しい天と新しい地、新しいエルサレムに導きためにこの世に戻って来られます。歴史の終末が未信者には悲劇的な終末であり、信者は最終の希望の達成です。歴史は、イエス・キリストの初臨と再臨という二つの事件に関連して目的と意味を持つようになります。
再臨されるイエスが人々から願いしたいとことは何でしょうか？イエスご自身が言われた、「人の 子が 來るとき， 地上に 信仰が 見られるであろうか」でした。この言葉は、イエスが再臨する時の名前だけの信者ではなく、聖書どおりの信仰を持つ信者、真の信仰を持つクリスチャンが多くないことを意味します。この言葉の意味を知るには、イエスが言及した信仰がどんな信仰のかを知る必要があります。その信仰を知るために「人の 子が 來るとき， 地上に 信仰が 見られるであろうか」という言葉を大きく三つの部分に分かれて詳しく見てみましょう

第一は、信仰がある信者同じだが、実際は、信仰のない人たちがいます。

検証がされていない信仰は、その信仰の性格がどうなのかわかりにくくなります。彼の信仰が聖書どおりの真の信仰に証明されるに試験の火と水を通過さなければなりません。聖書に登場する人物たちの信仰は苦難と迫害と誘惑によった試験を通じて検証されて判別されるのを知ることができます。信仰の状態と性格は約三種類に明らかにされます。
第一に、変わらない信仰を持つことが証明されている人がいます。ヘブライの青年 シャデラク， メシャク および アベデネゴ とダニエルが、これに属しています。彼らは炉に投げ込まれるようになり、獅子の穴に投げれるようになっても、神を恐れる信仰をそのまま堅持しました
第二に、自分の信仰が不十分なものと判明すれば、覚醒して全き信仰を持つようになる人がいます。アブラハムは 85 歳の時に妻サラの要求を受け入れて ハガルを通じてイシュマエルを生みました。アブラハムの信仰が不良したことが明らかになった。アブラハムは、99 歳になって、神の契約を信じる信仰が初めて完全にされて、100 歳で妻サラを介してイサクを産みました。
そしてイサクは青少年になった時、神の命令に従うし、アブラハムがイサクを全焼のいけにえとして差し上げようとナイフを聞きました。その時、神様がアブラハムの行動を中断させ、神様が備えられたラムの代わりに生け贄にささげるました。アブラハムは、前日の不実信仰にとどまらず、覚醒して、最終的に完全な信仰を持つようになりました
第三に、彼の信仰が中空江汀のようなものであることがあらわれる人がいます。ソロモンは、最初は大変な信仰を持つと行動したが、栄華を享受しながら、その信仰のよくないのが明らかになった。彼は王妃の異邦の女たちの要求のどおりにあらゆる偶像に仕える高き所を建てました。イエスの弟子ユダは裏切り行為で彼の信仰が偽信仰だったのが明らかになった。テマは使徒パウロと一緒に仕える仕事したが、最終的には自分の一身上の利益を追求して、パウロを捨て離れたのは、信仰のないのが明らかになった。このような人々は、信仰がある信者のように見えますが、実際は、信仰のない人たちです

第二には、真の信仰を持つ信者と同じですが、実際は疑似信仰を持つ人々がいます。

疑似信仰と表は、真の信仰のように見えるが内容が異なる信仰を指す言葉です。疑似信仰を持つ人々を六つ種類に分類してみましょう。
第一に、律法主義の信仰を持つ人々がいます。彼らは律法を守るから、救いを得ようとしてそして律法すべてを守ることができると信じています。
第二に、反律法主義信仰を持つ人々がいます。彼らはイエス・キリストを信じて救われたので、その後はどのように生きても大丈夫だという教えを信じています
第三に、補完主意の信仰を持つ人々がいます。彼らはイエス・キリストを信じることは十分でなく、律法の行為として補完しなければならないという教えを信じています。
第四に、世俗主義の信仰を持つ人々がいます。彼らは唯一の肉体的、物質的欲求を満たすための目的に信仰生活をします。
第五に、宗教多元主義の信仰を持つ人々がいます。彼らはどんな宗教を信奉してもみんなが救いを受けると信じ教えます。
第六に、新神学、自由主義の神学思潮を伴う信仰を持つ人々がいます。彼らは、聖書は神の啓示で記録された言葉であるから、エラーがなく、信仰と生活の基準になることを否定します。イエスが処女の体に聖霊によって生まれたのと、イエスの贖いの死と再臨、最後の審判、天国と地獄を否定します。
以上の六部類に属する信仰はすべて無駄になります

第三には、聖書のとおり信じる信仰を持つ信者がいます。

真の信仰は、聖書のとおり信じる信仰です。聖書どおりの信仰を持った信者たちがどんな態度で生きていくのかを見てみましょう。
第一に、これらの聖書は、聖霊の感動を受けた人々が神から受けて記録した本であるため、啓示で明らかにした言葉には、エラーがないことを信じて、自分の信仰と行為の基準にします。
第二に、これらはイエス・キリストだけが救い主であることを信じ、イエス・キリストの贖いの恵みに完全に頼ります。
第三に、これらはイエス・キリストを信じて神を恐れ、愛することを人生の目的にしました
第四に、これらは礼拝し、伝道し、聖徒のために奉仕することを楽しんでいます。
第五に、これらは神が聖徒の祈りに最善の答えをくださることを確信して祈ります。私たちは、主から求めなさい要請を受けました。「あなたは私を呼べ」「求めなさい　捜しなさい、たたきなさい。」と言われました。したがって、我々は、祈りの答えが遅れても、落胆しないにします。最終的な結果がどうしようが、神の善い旨のとおり応答することを信じ、積極的に祈る必要があります。イエスの再臨が近づくほど、知識が増えてきて、科学技術が非常に発展するでしょう。人々はうぬぼれがあり、人本主義の思想が蔓延することになるでしょう
その比例して祈りは一つの空虚な意識と形式に過ぎないものとして扱うされ、信仰生活の装飾や付属物として考えるようになります。聖書に記録された祈りの答えの例は、実際に起こったのではなく、ただ宗教心を盛り上げために善良な意図で記録されたものとみなしてしまう人が多くなりそうです。これらの人々の信仰と雨のない雲のようで、根が枯れて命のない木のようなものです。神が聖徒の祈りを聞き、最善の応答をくださることを否定する人は真の信仰を持つ信者とすることはできません
第六に、これらは教会を破壊し、クリスチャンを残骸する理念や体制をかばう人を嫌悪して排撃します。そうでない場合、彼は真のクリスチャンではありません。
第七に、これらは同性愛の合法化を支持する人を嫌悪して排撃します。ゲイの人権は保護されるべきです。しかし、同性愛は保護されてはなりません。差別禁止法という巧妙な名前で同性愛の合法化がされると、家庭と教会の被害は数えないほどになります。
第八に、これらは教会と主の僕をかじり誹謗し害する行為をしていません。そんなことをする者をかばうません。生まれ変わって聖霊の導きを受ける信者はそんなことができません。
真実で正しい信仰、聖書どおりの信仰を持っている人は、患難、迫害、誘惑を受けても、神への疑問や怨望がありません。私的な利益のために、真の信仰を毀損することを決して行いません

「人の 子が 來るとき， 地上に 信仰が 見られるであろうか」とした主イエスの言葉は非常に衝撃的な言葉です。主の再臨の直前に世界教会は多くても正しい教会が少なく、信者は多くても、真の信者は珍しいという意味です。私たちの責める言葉です。私たちの主　イエスは、人の外見をみないです。私たちの中に信仰があるかを見ていただきます。名目上の信者、擬似信者は殻と毒麦のよう分離されて捨てられることです。私たちの主イエスの再臨と、私たちに真の信仰があるかを見ることです。我々は、すべて真の信仰は、聖書どおりの信仰を持つので、私たちの主イエス・キリストがいつ再臨しても、喜びで迎えるのを願います.